

伊集院保健所感染症情報

2020年第6・7週（令和2年2月3日～令和2年2月16日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

1 管内定点あたり報告数

定点医療機関【インフルエンザ6, 小児科4, 基幹定点1】

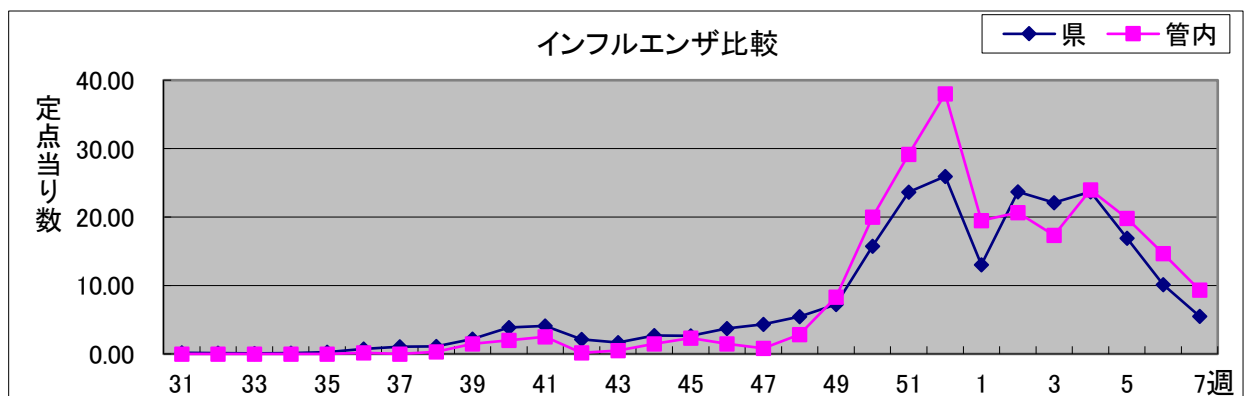
疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第4週	第5週	第6週	第7週	先週からの増減	第7週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	24.00	19.83	14.67	9.33	↓	5.50	↓
RSウイルス感染症	-	-	-	0.50	0.75	0.25	0.75	↗	0.24	↓
咽頭結膜熱	3	1	-	1.00	0.00	0.75	0.75	→	1.19	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	0.75	1.75	0.25	1.75	↗	3.59	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	1.75	1.25	5.25	3.75	↓	9.98	↓
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.25	0.25	→	0.57	↗
手足口病	5	2	-	0.25	0.75	0.00	0.25	↗	0.22	↓
伝染性紅斑	2	1	-	0.25	0.50	0.00	0.50	↗	0.44	↓
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.75	0.25	0.00	↓	0.26	↓
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.07	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.07	↓
基幹定点からの届出状況	該当なし									
インフルエンザ入院サーベイランス	該当なし									
全数報告（かっこ内は本年の累積数）	6W: 腸管出血性大腸菌感染症3(4), 7W: 腸管出血性大腸菌感染症6(10)									
※警報域 : 太文字で赤色の塗りつぶし, 注意報域 : 太文字で黄色の塗りつぶし										

注意すべき感染症

○インフルエンザ 警報解除

今週の管内におけるインフルエンザの報告数は、先週の6Wの88人（定点当たり14.67）より32人少ない56人（9.33）でした。鹿児島県全体のインフルエンザの報告数も、6Wの930人（10.11）より424人少ない506人（5.5）でした。

年代別では、10-14歳が16人、7歳が6人、3・6・8・9・15~19歳が各4人でした。鹿児島県全体の報告数も減少しており、継続して予防対策をお願いします。



○腸管出血性大腸菌について

先週、今週と腸管出血性大腸菌感染症の発生が続いています。

腸管出血性大腸菌感染症はペロ毒素という毒素をだす大腸菌による感染症です。

無症状や軽症で終わる場合もありますが、主に水様の下痢、激しい腹痛、血便、嘔吐や38℃台の発熱の症状が現れます。中には溶血性尿毒症症候群（HUS）をひきおこし、小児や高齢者では致命的となるケースもあります。

感染や発病までの潜伏期間はおよそ3～5日です。

腸管出血性大腸菌感染症を防ぐには？

腸管出血性大腸菌感染症は、食べ物による感染と糞便を介したヒトからヒトへの接触感染があります。腸管出血性大腸菌は、75℃、1分間の加熱（食品の中心温度）で死滅します。また、接触感染予防は、手洗いが重要です。帰宅時、調理前、調理中、食事前、用便後などこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を十分に洗いましょう。

下痢などの症状が見られたら、早めに医療機関を受診しましょう。

新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種です。**発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴**です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれています。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつるといわれています。

飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特に高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

・日常生活で気をつけることは？

まずは、手洗いが重要です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、咳エチケットを行ってください。

何かご心配なことがありましたら、伊集院保健所へご連絡ください。

土・日・祝日・夜間についても、緊急時は、下記電話にて対応いたします。

伊集院保健所 電話 099-273-2332 (FAX099-272-5674)
不在の場合は 警備員室 099-273-3100 が案内されます。
FAX 099-272-5674

お知らせ

令和2年2月27日（木）開催予定であったAMR（薬剤耐性）研修会は新型コロナウイルス等の状況等を考慮し、延期することとしました。（次回開催日未定）